

○児童、地域の実態・課題等
 明るく素直な心を持ち、学習活動にもまじめに取り組んでいる。また異年齢の遊びや異世代間の交流も多く見られる。それだけに、地域の学校教育に対する期待は高いものがある。一方で、小規模校での生活を続ける児童にとって、今後より大きな社会に踏み出した時にも、ものおしせず自尊感情をもって、生活を営むたくましさや課題への対応力を培うことが非常に重要である。

学校教育目標
 可能性に挑戦し、感動する、自立した玖島っ子の育成

学習指導要領
 総則 第1章第4の2(5)
 各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題や活動を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を設けるなど工夫すること。

キャリア教育目標
 自らの夢を育み、かかわりを大切にしながら、自分の可能性を伸ばす。

キャリア教育で目指す児童像
 ・夢やあこがれを抱き、将来に向かって意欲的に生活しようとする児童
 ・集団の中で自分の役割を自覚し、自己有用感をもちながら責任を果たす児童
 ・他者を理解し、円滑なコミュニケーションを築く児童

身につけさせたい基礎的・汎用的能力			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えや気持ちを受け止める。 相手が理解しやすいよう、自分の考えや気持ちを伝える。 自分から役割や仕事を見つけたら、分担しながら、仲間と力を合わせて行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味や関心、長所や短所などについて理解する。 気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組む。 不得意や苦手なことでも、進んで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からないことやもっと知りたいことがある時、進んで資料を収集したり、質問したりして解決する。 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考える。 見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶことや働くことの意義について考える。 自分の目標を立て、その実現のための方法について考える。 自分の目標に向かって努力する。

各教科
 ○協同的な学習活動を通して、社会性を培う。また、好きなことを見つけ、一生懸命取り組む姿勢を育む。
 ○学習が日常生活や将来の生き方と関連していることに気づかせ、学ぶ意欲につなげる。

各学年の重点目標

高学年

- 思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え、行動しようとする。
- 自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。
- 生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。
- 異年齢集団の活動の中で、高学年としての役割と責任について考え、実践する。

中学年

- 自分の意見や気持ちを分かりやすく表現し、友達の考えを理解しようとする。
- 自分や友達のよいところを認め、励まし合う。
- 自分の力で課題を解決しようとする。
- 学習や学校行事等で目標を持ち、実践する。

低学年

- あいさつや返事をし、「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う。
- 自分の思いをはっきり言い、友達と助け合う。
- 自分のことは自分で行おうとする。
- 係や当番の活動に取り組み、それらの大切さ分かる。

総合的な学習の時間
 ○学び方やものの考え方を身につけさせる。
 ○活動を通して、社会に生きる一員として、何をすべきか考えさせる。
 ○地域社会にかかわる喜びや楽しさを実感させる。

道徳
 ○約束やきまりを守り、自分がやらなければいけないことをしっかりと行うことができるようにさせる。
 ○協力し、助け合う体験を大切にさせる。
 ○自己肯定感を育み、未来への夢や希望を持つことができる心を育てる。

特別活動
 ○自ら課題や問題を見つけ、解決できる意識を持たせる。
 ○協力し合える人間関係を築く態度を育てる。
 ○個性の伸長を図り、自発的な態度を育てる。
 ○集団への所属意識を深め、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。
 ○キャリアノートを活用し、取組を推進する。